



# 消防千葉

2024 No.605 令和6年8・9月号

## 目次

巻頭言 (柏市消防局長)	2
第30回全国消防操法大会千葉県代表選考会	3・4
第30回全国消防操法大会に向けて	5
第60回市町村消防長・消防団長会議	6・7
令和6年度「防火・防災ポスター展」表彰式	8～10
わが町の消防団 (白井市消防団)	11
東西南北	12・13
日々の動き	14



消防団救助訓練 印旛支部



## 巻 頭 言

## 「つづくを、つなぐ」

柏市消防局 消防局長 本田 鉄二



柏市は、都心から30km圏の本県北西部に位置し、利根川を境に茨城県と接しており、市域は、東西約18km、南北約15km、面積は114.74km<sup>2</sup>であり、地勢はほぼなだらかな下総台地の堅固な地盤上を中心に、市街地や里山が形成されております。

交通網に恵まれ、JR常磐線や東武野田線、つくばエクスプレスといった鉄道路線のほか、国道6号や16号、常磐自動車道が市内を通過しています。この便利なアクセス環境により、柏の葉キャンパス駅周辺では、公民学が連携したスマートシティの取組が進み、活気ある街並みが形成されています。また、JR柏駅周辺では、多様な商業施設に加え、再開発事業による新しいエリアの計画が進行中で、柏の玄関口としての存在感がさらに高まる予定です。一方で、自然環境と緑に恵まれた利根川や手賀沼周辺では、都市と自然の豊かさと調和し、良質な住居エリアが広がっています。さらに「柏レイソル」や「JX-ENEOSサンフラワーズ」といったパリ五輪に代表選手を輩出するプロスポーツのトップチームの活動拠点としても賑わいを見せるなど柏市ならではの価値と魅力を活かしたまちづくりを展開しています。

人口約43万人の安全・安心な暮らしを支える消防体制は、1局4署7分署で組織された477人の消防職員と、団本部と女性消防分団を合わせた43分団の消防団員563人が連携し、市内全域をカバーしております。

消防局では、年々激甚化・頻発化する豪雨、洪水などの記録的な自然災害により公務中の職員の危険度が上昇しリスクが増加している現状や、かねてより危惧されている首都直下地震の発生確率が高いという認識のもと、災害に係る危機管理体制の再点検・強化を柱とした施策に取り組んでいるところです。

また、消防活動力の強化を図るため、大規模災害時等に有効な自家用給油取扱所の整備を進めるとともに、住宅の防火安全対策を支援する感震ブレーカー設置補助事業や、消防法令違反の早期是正を目指す機動査察隊を中心とした予防対策の充実にも着手しております。

さらに、高齢化の進展や感染症の流行等を背景に、より一層の救急需要の増大が懸念されている中で、本年4月から日勤救急隊を増隊するなど、安定的かつ持続的な救急体制の強化にも取り組んでいます。

結びに、柏市は本年11月、市制施行70周年を迎えます。

この節目の年を迎え、今日の柏市を築いてこられた先人たちの御尽力に心から感謝するとともに、新しい葉が芽吹くまで今の葉が落ちない柏の木にちなむ市のスローガン「つづくを、つなぐ」の理念浸透を進めるべく、先人からつづく今を受け継ぎながら、途切れることなく、柏市消防局の基本理念「市民の安全性を高める消防行政」を展開してまいります。



## 第30回全国消防操法大会千葉県代表選考会の開催 (令和6年7月27日、於千葉県消防学校)

千葉県と(公財)千葉県消防協会が主催(後援(公財)日本消防協会)する第30回全国消防操法大会千葉県代表選考会が、7月27日(土)千葉県消防学校において開催されました。



選考会は、昨年度設置された「千葉県消防団活性化検討会」の報告書を受け、消防団員の負担軽減を図るため、これまで毎年開催されていた「千葉県消防操法大会」を、隔年開催される「全国消防操法大会」への千葉県出場隊(1種目)を決定する選考会に移行するとともに、運営方法の簡素化が図られました。

当日は猛暑のなか、県内の消防関係者等約600名が参加し、県内支部代表の小型ポンプ操法の部12チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。

午前8時30分、佐藤薫消防協会副会長の開会宣言の後、横田裕之消防学校長から審査に係る諸注意が行われ、操法演技が開始されました。

各消防団から持ち込まれた小型ポンプによる操法競技が開始されると、各消防局、消防本部から選抜された審査員が厳しく審査する中、各チームの指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで、技の速さ、正確さを競い合い、消防関係者の見守るなか素晴らしい演技が展開され、会場から大きな歓声が上がるとともに、家族でお父さんの応援など微笑ましい光景も見られました。



横田消防学校長





審査の結果は、横田審査長(千葉県消防学校長)から発表され、団体表彰の最優秀賞を市原市消防団が受賞し、来る10月12日宮城県で開催される第30回全国消防操法大会に千葉県代表として出場します。



最優秀賞 市原市消防団

★ 選 考 結 果

団 体 の 部		個 人 の 部	
順 位	消 防 団 名	順 位	消 防 団 名
最優秀賞	市原市消防団	最優秀指揮者	市原市消防団 阿部 善浩
優秀賞	横芝光町消防団	最優秀1番員	市原市消防団 小林 千隼
優良賞	袖ヶ浦市消防団	最優秀2番員	館山市消防団 石井 佑典
		最優秀3番員	流山市消防団 藤田 尚也



## 第30回全国消防操法大会に向けて

### 市原市消防団

令和6年7月27日(土)千葉県消防学校において、「第30回全国消防操法大会千葉県代表選考会」が開催され、千葉支部代表として出場した市原市消防団南総支団第16分団が見事最優秀賞に輝き、来る令和6年10月12日(土)に宮城県で開催される「第30回全国消防操法大会」に出場することとなりました。

南総支団第16分団は、昨年度の第59回千葉県消防操法大会でも小型ポンプ操法の部で最優秀賞を獲得し2年連続で最優秀賞を受賞しております。

また、市原市消防団としては22年ぶりの全国大会出場となります。

市原市の誇り、千葉県の誇りを胸に全国大会頑張ってきます。





## 第60回市町村消防長・消防団長会議の開催

8月7日(水)、第60回市町村消防長・消防団長会議が、市原市市民会館大ホールで、県下市町村から消防(局)長と消防団長等約160名の出席により開催されました。



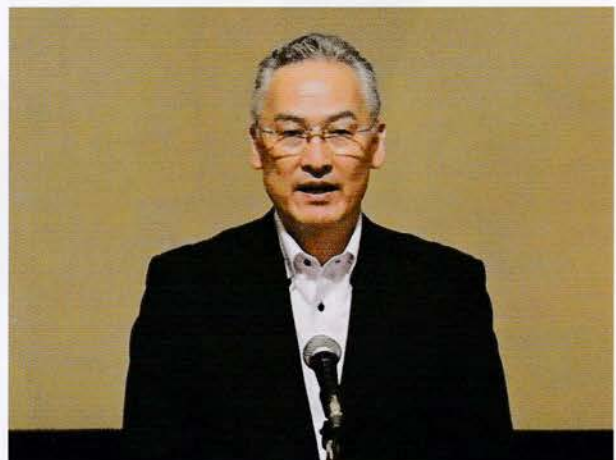
会議冒頭、来賓(下重日本消防協会業務部長、高岡千葉県消防課長、横田千葉県消防学校長)並びに主催者(石橋消防協会会長、芝岸副会長、吉野副会長、佐藤副会長、鎌倉副会長)の紹介がされ、引き続き、昨年の消防長・消防団長会議以降、新しく就任された消防(局)長・消防団長31名の紹介が行われました。

その後、芝岸消防協会副会長の開会の言葉、石橋消防協会会長の主催者挨拶に続き、日本消防協会長(代理 下重業務部長)の来賓祝辞がなされました。

議事は、石橋協会会長が議長となり進行され、最初に、高岡消防課長から防災危機管理部各課の連絡事項や主な行事实施予定等の説明、横田消防学校長からは令和6年度の消防職員及び消防団員に係る教育訓練実施計画の説明、下重日本消防協会業務部長からは、今後の全国大会等の開催計画、第30回全国消防操法大会、消防団員確保対策に関する意見書及び新会館完成後の主要イベント等について説明がされました。最後に、伊藤消防協会専務理事から消防協会の令和6年度の事業計画及び主要行事等の説明がされ、議事は終了しました。



石橋消防協会会長



下重日本消防協会業務部長

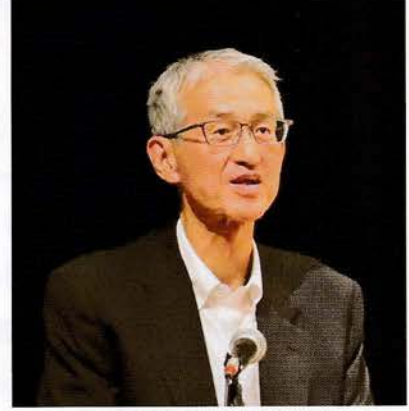




高岡消防課長



横田消防学校長



伊藤消防協会専務理事

続いて、四街道徳洲会病院救急・災害対策室長の渡邊敏行氏による「令和6年能登半島地震における災害医療支援活動 (TMAT) について」と題する講演が行われました。渡邊氏の主な経歴は、昭和61年に佐倉市外二町消防組合に採用され、その後、日本消防協会業務部への派遣や消防大学校上級幹部入校を経て令和3年に佐倉市八街市酒々井町消防組合消防長に就任されました。退職後令和4年に四街道徳洲会病院に入職され、現在日本消防・防災協会専任講師として研修会の講師など防火・防災活動の推進に御尽力されております。



渡邊敏行講師

講演では、災害医療支援活動 (TMAT) の活動状況や東日本大震災、熊本地震、日本で初めてブラックアウト (電力会社が管轄するエリア全域に及ぶ大規模停電) により鉄道・路線バス・高速道路などの交通インフラの全面的な運行中止や放送通信も止まった北海道胆振東部地震などの大災害の解説が行われ、災害に強い社会構築の必要性を話されました。

また、能登半島地震では現地での支援活動の経験を踏まえ、全国からの多くの支援を円滑に受け入れるための受援体制の整備の重要性を説かれました。

まとめとして、災害支援活動に必要なものとして、被災地では被災者や支援者から不確実なものも含め多くの情報が交錯するなかで、コミュニケーション力と心のコントロール、自身の目的意識が重要であり、リーダーとして求められるものとして、大局的に物事を上から見ることで、自分に意見を述べる者の存在が必要であること、また支援に派遣した職員に対する帰任後も含めメンタル等のフォローも必要であると話されました。

講演後、吉野消防協会副会長の閉会の言葉で会議は終了しました。





## 令和6年度「防火・防災ポスター展」表彰式

千葉県・(公財)千葉県消防協会・千葉県少年女性防火委員会

県内の小学生と中学生から防火・防災に関するポスターを募集し、多くの小学生と中学生に制作過程を通じて防火・防災への関心と理解を深めてもらうとともに、優れた作品を紹介することによって県民の防火・防災思想の普及啓発を図ることを目的として、千葉県、(公財)千葉県消防協会及び千葉県少年女性防火委員会の主催により、県内の小中学校の児童・生徒から募集した防火・防災に関するポスター展の表彰式が8月21日(水)千葉県庁中庁舎10階大会議室において受賞者、受賞者の保護者等の臨席のもと開催されました。

本年度は、県内30の小・中学校から1,545の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞には、小学生低学年の部で習志野市立津田沼小学校3年藤枝栞里さん、小学生高学年の部で南房総市立千倉小学校6年石井理紗子さん、中学生の部で香取市立山田中学校2年高木愛絆さんが受賞され、優秀賞に習志野市立津田沼小学校3年田久保和花さんの作品外5点、千葉県消防協会長賞には野田市立岩木小学校3年岩田幸さんの作品外5点、千葉県少年女性防火委員会長賞には茂原市立茂原小学校2年塩崎ゆめさんの作品外5点が選ばれ、それぞれ表彰を受けました。



穴澤千葉県副知事



石橋千葉県消防協会長





# 受賞作品

## ◆知事表彰 ☆最優秀賞



習志野市立津田沼小学校 3年  
藤枝 栞里



南房総市立千倉小学校 6年  
石井 理紗子



香取市立山田中学校 2年  
高木 愛絆

## ☆優秀賞



習志野市立津田沼小学校 3年  
田久保 和花



野田市立岩木小学校 3年  
宮原 陽向



流山市立鱒ヶ崎小学校 5年  
長谷川 柚花



習志野市立津田沼小学校 5年  
粟澤 志帆



船橋市立若松中学校 3年  
金子 芽生



習志野市立第一中学校 3年  
八朔 幸希奈



◆ (公財) 千葉県消防協会長賞



野田市立岩木小学校 3年  
岩田 幸



習志野市立津田沼小学校 3年  
佐藤 団



我孫子市立我孫子第四小学校 4年  
濱口 佳音



野田市立みずき小学校 6年  
植木 暖



習志野市立第一中学校 3年  
保坂 心寧



習志野市立第一中学校 3年  
芳賀 響

◆ 千葉県少年女性防火委員会長賞



茂原市立茂原小学校 2年  
塩崎 ゆめ



習志野市立津田沼小学校 3年  
佐藤 由奈



長生村立一松小学校 5年  
幸野 来波



茂原市立茂原小学校 6年  
吉橋 巧真



市原市立八幡中学校 3年  
菊池 光



香取市立小見川中学校 3年  
飯塚 梅



## わが町の消防団 白井市消防団



白井市消防団は、中村教雄消防団長以下249名（令和6年4月1日現在）で構成しており、1本部3分団で活動しています。

本年6月に開催された第44回印旛郡市消防操法大会では本市が開催担当市となり、印西地区消防組合の消防署員の指導のもと、白井市消防団全体が一致団結して大会に臨み多くの方が応援に駆けつけました。



現在、白井市では、少子高齢化やライフスタイル等の変化により、年々、消防団員が減少している状況を踏まえ、広報での団員募集や市職員の入団促進などの取り組みを行うとともに、消防団員数・資機材等の適正化など消防団のあり方について検討を行っているところです。

これからも白井市は持続可能な消防団体制の構築を目指し、市民の生命と財産を守るため活動してまいります。

白井市は千葉県の北西部に位置し、東に印西市、西に鎌ヶ谷市、北に柏市、南に船橋市に接しており、都心までのアクセスの良さから、東京のベッドタウンとして千葉ニュータウンとともに発展したまちです。

また、百年以上の歴史ある「しろいの梨」が特産で、都市と自然の調和のあるまちづくりを進めています。



「火災を迅速に鎮圧し、人命と財産を守るため」、今回はじめて大会に出場した選手たちは、消防操法を経験し、実践することで、その技術を学び、共に喜び、感動を分かちあうことで、消防力と団結力の強化につながりました。

広報しろい

白井市は「ときめきとみどりあふれる 快活都市」を目指します

SHIROI

令和6年  
(2024年) 6月 15日号

毎月1日・15日発行

No.995

消防団員、募集!



消防活動は、消防士の人が行っているわけではありません。消防活動は市民にも参加するため、火災発生の際には、消防士が到着するまでの間、火災の発生を知らせるための活動が求められます。消防活動のやり方などは、消防士から指導を受けることができます。消防活動に参加したい方は、消防団員募集のページをご覧ください。お問い合わせ先：401-4650



# 東 南 西 北

## 東 西 南 北 八ヶ崎消防署春季火災予防運動に伴うイベントを実施 松戸市消防局

八ヶ崎消防署では、松戸市内の管内大型商業施設テラスモール松戸において、3月2日「八ヶ崎消防署春季火災予防運動に伴うイベント」を実施しました。当日は消防音楽隊の演奏、ホース延長体験、子ども用防火衣装着体験、松戸のアイドル松戸さんと松戸市少年消防クラブ員の皆さんで広報活動及び啓発物品の配布を実施しました。約330名の来場者で賑わい、楽しみながらイベントに参加することで火災予防思想普及推進の一助となりました。

参加者からは「来年も実施してほしい」との声がとて多かったです。

今後は、松戸市に住んでいる一人でも多くの方にイベントに参加してもらい火災予防について興味、関心を持ってもらえるイベントを開催していきたいです。



## 東 西 南 北 火災予防に係る特別広報活動を実施 佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合では佐倉防火安全協会と合同で、令和6年春季全国火災予防運動期間中に、日本郵便株式会社佐倉郵便局・八街郵便局及び千葉県ヤクルト販売株式会社のご協力をいただき、火災予防に係る特別広報活動を展開しました。

事業所の車両や販売員のショルダーバッグに住宅用火災警報器設置促進に関する広報ステッカー等を貼付しながら管内を隈なく巡回いただいたもので、多くの方が目にすることで効果的な火災予防広報を行うことができました。



## 東 西 南 北 中高層建物火災を想定した消防訓練 市原市消防局

姉崎消防署では、地域防災の要である消防団と地域住民が連携して、14階建て建物の12階から出火の想定で訓練を実施しました。連結送水管を活用した放水訓練、消防団による自然水利からの揚水訓練、中継送水訓練、応急救護訓練、また、住民による避難訓練、初期消火訓練及び心肺蘇生法を行いました。訓練終了後には消防団員を対象に消火栓取り扱い訓練も行いました。

今回の訓練にとどまらず、今後も消防署・消防団・地域住民で三位一体の連携を図り、さらなる「自助・共助・公助」を強化し、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組みます。





## 東 西 南 北 令和5年度特別部内研修会を実施

### 四街道市消防本部

四街道市消防本部は3月27日、四街道徳洲会病院 救急災害対策室 室長 渡邊敏行氏を講師として招聘し、「令和6年能登半島地震 災害派遣 (TMAT) を通じて」と題し、令和6年1月1日に発災した能登半島地震災害派遣時の活動内容や発災直後の現地状況について講義を受け、大災害への心構えを新たにしました。今後も同本部は、研修を充実させ組織の活性化を図ってまいります。



特別部内研修会の様子



講師 四街道徳洲会病院  
救急災害対策室 室長 渡邊敏行氏

## 東 西 南 北 消防団協力事業所を認定

### 銚子市消防本部

銚子市消防本部では、令和6年4月23日(火) 銚子市消防団協力事業所に認定した、ヤマサ醤油株式会社へ表示証の交付を行いました。

消防団協力事業所表示制度は、消防団員が複数在籍している事業所を認定することにより、事業所の消防団活動に対する理解を深めて頂き、消防団に入りやすく、かつ活動しやすい環境作りを図ることを目的としています。

事業所にとりましては、地域への社会貢献活動に寄与している証となり、事業所の信頼性の向上やイメージアップにつながります。

銚子市消防団協力事業所として、ヤマサ醤油株式会社で3事業所となります。今後も、団員の確保を図り、地域防災体制の充実に努めてまいります。



## 東 西 南 北 「令和6年度新規採用職員教育訓練」を実施

### 習志野市消防本部

習志野市消防本部では、令和6年4月4日(木) から4月24日(水) までの間、当消防本部の新規採用職員に対して、教育訓練を実施しました。

この訓練は、基本結索、三連梯子取り扱いや車両からのホース延長など、消防職員としての基本となる技術の習得や、安全管理に対する意識の醸成を目的として実施したものです。

また、訓練最終日には訓練の成果を確認するため、本年に竣工した訓練センターにおいて署長査閲を実施しました。本査閲は建物火災を想定し、防火衣装着から放水までの一連の流れを安全・確実・迅速に実施できているかを確認しました。

今後も、さまざまな人材育成に係る教育訓練などを行い、市民の信頼と期待に応えられる消防組織を目指してまいります。





# 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

## 令和6年9月・10月

- 9月19日 第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会(宇都宮市)
- 25日 令和6年度女性防火研修会(千葉県消防学校)
- 10月3日 第43回全国消防殉職者慰霊祭(ニッショーホール)
- 12日 第30回全国消防操法大会(宮城県)
- 20日 第45回九都縣市合同防災訓練(いすみ市)



**2024年度 全国統一防火標語**  
**「守りたい 未来があるから 火の用心」**

**令和6年 秋の全国交通安全運動**  
 9月21日(土) から9月30日(月) までの10日間  
**交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(月)**  
**スローガン**  
**～反射材 光って気づいて 事故防止～**

### <表紙の説明>

#### 消防団救助訓練 印旛支部

四街道市消防団では、気候変動に伴う自然災害の増発を受けて、風水害事案を想定した救助訓練を実施し、併せて安全管理教育に注力しています。

訓練では、各分団に配備しているチェーンソーを使用し、安全管理を徹底した上で、木の形状や圧力のかかり方、切断後の倒れ方などを習得する切断訓練を実施しています。

当市消防団は、市民の生命・身体・財産を守るため、災害現場において、「安全・確実・迅速」な消防活動が展開できるよう、今後も定期的に資機材の取扱い訓練を実施し、地域防災力の向上に努めてまいります。



### <記事の訂正について>

令和6年6・7月号の2ページ「巻頭言」中段の、消防本部の発足年月を「昭和22年12月」としてありますが「昭和33年1月」の誤りでしたので、お詫びし訂正いたします。御迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。

(誤) 昭和22年12月に消防本部が発足⇒(正) 昭和33年1月に消防本部が発足